

# がん薬物療法の オンコロジックエマージェンシー

日時 2025  
2/23 [日]  
9:30 ~ 11:00

会場 第10会場  
(札幌市教育文化会館1階 大ホール)

開催方法 現地 + ライブ配信  
(逐次通訳、後日オンデマンド配信あり)

## シンポジスト

河面 育子

Memorial Sloan Kettering  
Cancer Center, OCNS



Kristie Murphy

Memorial Sloan Kettering  
Cancer Center, CCNS



市川 智里

国立がん研究センター東病院  
がん看護専門看護師



座長

渡邊 知映

(昭和大学保健医療学部看護学科 教授 / 教育活動委員会)

水野 道代

(筑波大学医学医療系教授 / 国際活動委員会)

## 企画意図

がん薬物療法では、薬剤投与に伴うアナフィラキシーショックや腫瘍崩壊症候群による急性腎機能不全、免疫関連有害事象としての多臓器不全といった重篤な問題が生じることがあります。これらは治療開始早期から現れ、患者に致命的な状態をもたらすことがあります。このような状況はがん薬物療法に伴うオンコロジックエマージェンシーと呼ばれます。

オンコロジックエマージェンシーには早期発見と迅速な対応が求められ、初期対応における看護職の役割・機能は非常に大きいとされています。緊急時の受け入れ体制整備をはじめとする、オンコロジックエマージェンシーへの対策について、各医療施設におけるシステムづくりが求められています。本国際シンポジウムでは、がん医療におけるトップランナーとして米国と日本において日々の実践に携わる3名のAPNをシンポジストとしてお招きします。オンコロジックエマージェンシーにおける実際の初期対応や管理体制、患者教育・看護師教育の在り方等について最新の知識を得るのみでなく、シンポジストとのディスカッションを通して、オンコロジックエマージェンシーに関する幾つもの課題について検討します。